

行動する人づくり

【目指す都市の姿】

全ての人や事業者等が杜の都の環境を大切に、行動するまち

【施策の方向】

- 環境にやさしい行動の輪を広げる
- 環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルを定着させる

【関連するSDGs】



本市の現況

今日の環境問題は、身近なごみの問題から地球温暖化のような世界規模の問題まで幅広い分野にわたりますが、いずれも私たちの生活スタイルや社会の在り方と密接に関わっています。

これらの問題を解決し、大都市としてはまれに見る豊かな生態系を保全しつつ、持続可能な社会を構築するためには、「環境教育・学習」を広く普及・推進することによって、私たち一人ひとりが日常生活での意識と行動を環境への負荷の少ないものに変えていくことが大切です。

このような観点から、本市では環境保全の基本施策に環境教育・学習を位置付け、関係団体等とも連携しながら様々な事業を展開してきました。

令和3年度に実施した主な取り組み

■せんだい環境学習館たまきさんサロン

「せんだい環境学習館たまきさんサロン」は、環境教育・学習についての情報の収集・提供や活動支援を行うことを目的として、平成28年4月に青葉山の東北大学大学院環境科学研究科本館1階にオープンしました。

「たまきさんサロン」では環境に関する多様なテーマの「サロン講座」を開催しているほか、親子向け講座や小学生の授業など子供たちへの環境学習の場としての活用、環境関連図書の貸し出しを行っています。無料のセミナースペースもあり、勉強会や会議の開催など、市民の皆さまの環境活動の交流の場としてご利用いただけます。令和3年度の利用者は、2,317人、図書等貸出数は1,829冊となっています。

また、令和3年度にリニューアルした「せんだい環境Webサイトたまきさん」では、仙台の環境の情報や、環境に優しい行動のヒントなどを発信しています。



▲たまきさんサロン

■杜の都の市民環境教育・学習推進会議 (FEEL Sendai)

環境に配慮できる人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する組織として、平成16年5月にNPO・学校・事業者・行政などのメンバーで構成される「FEEL Sendai(フィールセンダイ)」を設立しました。メンバーによる幅広いネットワークを活用しながら、環境学習プログラムの実践やフォーラムの開催など、環境教育・学習を包括的に推進しています。

令和3年度は、市内の小中学校や保育園・幼稚園等を対象とした、延べ58回の環境プログラム体験実践や、環境に配慮した取り組みの拡大・定着を図る企画の募集と3企画の実施などを行いました。



▲環境学習プログラム「集まれ!地球の仲間たち! ~動物から学ぶいのちのつながり~」

■学校における環境教育

環境問題は現代社会のライフスタイルと密接に関わっており、日頃から環境を意識した生活や責任ある行動をとれる児童生徒の育成が求められています。そこで、学校教育では、「杜の都環境プラン」に基づき、児童生徒が主体的に環境保全に取り組む意識や態度を育てる「杜の都のエコ・スクール活動」に全市立小・中学校で取り組んでいます。

令和3年度は、「ペットボトルイルミネーション制作」など特色ある様々な環境教育が実践されました。

ペットボトルイルミネーション(原町小)▶



■生涯学習における環境教育

スリーエム仙台市科学館では、生涯学習や学校教育において環境に関する指導や学習支援を行っています。令和3年度は、小学校を対象とした「環境学習の学校支援」、中学校生徒を対象とした「科学館学習」を実施しました。

八木山動物公園フジサキの杜(仙台市八木山動物公園)では、動物の飼育・展示にとどまらず、動物を通して自然環境の大切さや動物と環境の関わりを学ぶことができるよう、環境教育の観点から、「ゾウ糞エコサイクル授業」や「メダカの保全事業」、「シジュウカラガン羽数回復事業啓発」、「学習プログラム」などを実施しました。

市民センターでは、地域住民を対象に、環境問題に関する学習機会を提供する講座やイベントを開催しています。令和3年度は、「植物観察」など35事業、145回の環境関係事業を実施し、延べ3,453名が参加しました。



▲市民センターにおける環境関連講座の様子

■グリーン購入の推進

本市は、環境負荷の小さい持続可能な社会の形成に向け、市民や地域の事業者の皆さんに、環境にやさしい製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」の取り組みを促すことを目的とした啓発活動を行うとともに、地域の商店等と連携し、だれもがグリーン購入を実践しやすい仕組みづくりを進めています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等は中止にしましたが、伊達武将隊が出演するグリーン購入啓発動画を、せんだいTube及びせんだい環境Webサイトたまきさんで配信しました。



▲グリーン購入啓発動画

■仙台市環境配慮事業者の認定

平成12年度から市民団体や事業者団体及び市による「仙台市環境配慮型店舗認定委員会」を組織し、環境に配慮し、ごみの減量・リサイクル、省エネ、グリーン購入の推進などの環境配慮に積極的に取り組んでいる事業者を、「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」として認定し、事業者の環境配慮の取り組みを促進しています。

令和4年3月現在の認定事業者の数は139、認定店舗・事業所等の数は515となっています。



▲「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の認定マーク

■大学との連携

本市と東北大学は「東北大学大学院環境科学研究科と仙台市との連携と協力に関する協定」を締結しており、令和3年3月には、新たな「杜の都環境プラン」の推進にあたり、これまでの連携・協力体制を強化し、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策や資源循環の推進等に率先して取り組むため、協定の見直しを行いました。

また、東日本大震災で被災した南蒲生浄化センター(下水処理場)を拠点として、生活排水中の有機物などを取り込んでオイルを生産する藻類バイオマスについて、本市は筑波大学、東北大学との3者による連携協定を締結しました。この協定を踏まえ、平成25年4月に「仙台・南蒲生藻類バイオマス技術開発実験室」を開所し、平成30年4月から民間企業3者を加えた6者による新たな実証事業に取り組んでいます。